

## ～ブラリ勝尾寺街道～

6月29日(火)

<距離>

<集合> 11時30分 千里中央駅バス停広場 (市田丸) 合符消①

<コース> 駅～天神社～旧新田小学校校舎～徳林院～

中央公園(昼食)～(蓮間配水場)～峠の茶屋～西国街道～大鳥居

### <1616年/上新田の開拓>

① 武蔵国代官・間宮三郎右衛門の命によって始まる

② ～1686年/天神社社殿が完成

【稲田桃(江戸末期)→山田の銀筍(皇室に献上)】

③ 1871年・廃藩置県/大阪府嶋下郡新田村字上新田

④ 昭和28(1953)年/豊中市上新田となる

### <旧新田小学校校舎=大阪府指定文化財>

明治6(1873)年/三島郡片山村一番小学校の分校として発足→二年後に  
独立校となり上新田小学校と改称した

明治33(1900)年/現校舎が建設され、昭和48(1973)年まで使用された

### <徳林院は尼寺だった>

「頭をまるめ、灰色の着物を長身にまとった美しい方だった=昭和41年  
5月号の新聞<千里>」

【天保・徳林行者遺跡】行者は1801～1814の間、摂津に在住し勝尾寺  
と大阪御堂筋の小橋屋を往来のつど徳林院(初代庵主は小橋屋の娘)に  
寄宿した。蕪文字の「南無阿弥陀仏」が全国各地に残る(天保=1830～1843)

### <吹田市域に張り出す中央公園。なぜ?>

公園ができたのは昭和43年

上新田村明細帳の『安場溜』には「上池」と「下池」があった。二池  
とも上新田村の人が利用する灌漑池だった

### <桜通り～蓮間配水場～「千里緑地=峠の茶屋」～>

ここには枝ぶりが何十畳もある一本松があって、上る人も下る人も、こ  
の松影で弁当を食べ休憩した。すぐ側の「峠の茶屋」ではお茶の接待の  
ほか名物の桃、ハタンキョウ、アンズ、団子が並べられていた。

### <勝尾寺表参道と大鳥居>

西国街道に面した大鳥居を起点として、北に伸びる三十六町(約4Km)  
を勝尾寺表参道という。参道沿いには寺への距離を示す町石が所々に  
残っており、宝治元年(1247年)に建てられた下乗石から七町石まで  
の八基は、最古の町石として国の史跡指定を受けています。

\*いくつかの町石から「施主 小嶋屋」「施主 小嶋屋長左衛門」または  
「施主 大阪内淡路町小嶋屋長左衛門」の彫刻が読み取れたという

●勝尾寺文書=1245年(鎌倉時代)に木の鳥居が建てられ、今の大鳥  
居は1666年に建てられた(箕面市教育委員会)

<雑記>

① <佐竹台(吹田市)でアケボノゾウの化石が見つかった=昭和 23 年>  
 アケボノゾウは、約 250 万年前から 120 万年前に日本列島だけに生息  
 していたと言われ、祖先は大陸から渡ってきたシンシュウゾウだと考  
 えられています。肩までの高さが 1.5~2.0m と小型ですが、小さな体  
 に似合わず大きな牙を持つのが特徴です。  
 東北地方から九州、特に近畿地方で多く発見されています。  
 「ゾウは水浴びが好きだが海を泳ぐことはできない」といいます。  
 その昔、日本と大陸が陸続きだったのでしょうか。

② 千里ニュータウンや万博会場建設直前まで、千里丘陵には推定  
 6 万匹のマムシがいたという。建設工事の人がよく嘸まれ、「こんなと  
 ころで仕事をするのはイヤ」と、やめて行った人もいた(らしい)。  
 戦前、びわ湖湖西に”へび取り村”があった。山田のへび取り名人も滋  
 賀の人だった。名人が造る「肺病の特効薬」「強壮・マムシ酒」「マム  
 シ油の切り傷特効薬」など千里産のマムシ特効薬は、ガマを凌いでよ  
 く売れたという。=千里の歴史と伝統より

③ 千里ニュータウン開発が正式に決まったのは昭和 33 年(1958 年)。  
 当時は樹林に覆われた数群の丘陵と、その間に谷間があるだけで、昭  
 和 9 年に移転してきた大阪市弘済院や昔からあった山田や上新田の集  
 落を除けば、ほとんど人影も見当たらない寂しい土地でした。

【買取基準価格】は坪当たり、田=2200~1700 円、畑=2000~1500 円、  
 山林・原野=1500~1200 円、池=1400~1200 円だった(昭和 34 年の大  
 卒国家公務員の初任給は 10200 円) =千里ニュータウン史より

